

# 謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



小竹 國昭

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、  
回頃から町政に対する格別なご理解とご協力に深くお礼申し上げます。

私は昨年4月の町長選において、町民の皆さまの暖かいご支持・ご支援をいただき、3期目の町政運営を担わせていただくこととなりました。

私は平成17年の初当選以来、「小さくてもキラリと光るまち」「小さいからこそできる心あたたかいまち」を目指し、全力で取り組んできました。今後も皆さまからの声に真摯に耳を傾け、小さい町だからこそできる、きめ細やかな行政展開をはかり、「元氣あふれるふるさとづくり」を目指してまいります。

さて、昨年のわが国を振り返ってみますと、平成24年12月の衆議院選挙において自民党が圧勝し、第2次安倍晋三内閣が発足し平成25年の幕が開きました。安倍政権は、経済政策として「アベノミクス」を打ち出し、株価上昇などの明るい兆しも見え始めてはおりますが、円安に伴う消費者物価の上昇や平成26年4月からの消費税増税の決定など、各家庭においてはまだまだ苦しい状況が続いております。

10月には、伊豆大島で大雨による大洪水が発生し、多くの方が犠牲になったことが記憶に新しいところですが、日本各地でこれまで経験したことが無い、豪雨や竜巻など異常気象が発生しております。

また、東日本大震災が発生して2年9ヶ月が経過し、少しずつ復興の足音が聞こえておりますが、被災地ではまだまだ多くの方が避難生活をよぎなくされており、今後の生活の目処が立たない状況が続く中、福島第一原発では、汚染水問題が表面化するなどの問題が山積しております。

そのような中、2020年オリンピック開催地が東京に決定し日本中が湧き上がり、スポーツ界では東北楽天イーグルスの田中将大投手が開幕24連勝という偉業を成し遂げるなど、明るい話題もありました。

当町においては、5月に販売を開始した第2期分譲地の「レ・コードの森スウィートタウン」が順調に販売数を伸ばし、7年目となる定住移住政策も目標を上回る成果を上げております。

産業分野では、基幹作物であるピーマンの販売額が生産開始から初めて4億円を超え、黒毛和牛の素牛販売額も大幅に増加。秋サケ漁も昨年の記録的な不漁から一転回復となりました。競馬界においては、町内の牧場で生産された競走馬がGIレースで大活躍しました。また、道内外において、スポーツや芸術の分野で多くの町民の皆さまが目覚ましい活躍をされたことは大変喜ばしいニュースであるとともに、新冠の誇りであります。

本年におきましても、多くの課題が山積する中で難しいかじ取りを迫られることと思いますが、決してあきらめることなく、町民の皆さまと手を携え、英知を結集し、挑戦を続け、課題を克服していきたいと考えております。

この町で大切に育まれてきた「人と人との絆」「助け合い」「地域を愛する心」を次世代へ繋いでいくため、当町に暮らす全ての人がキラリと光輝くまちを目指し、職員一丸となり全力で取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆さまにとって、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、ますますのご発展をご祈念申し上げます、  
年頭の挨拶といたします。